

読書でビジネス力をアップする(第4回)

「外資系エグゼクティブ」の働き方

2015.09.01



どの会社でも結果を出す「外資系エグゼクティブ」の働き方
フラナガン裕美子 著
日本実業出版社

結果を出すエグゼクティブたちの、世界基準の仕事のやり方を教える本です。著者が、外資系企業で働く中で学んだことを、5つの行動原則としてまとめ、解説してくれます。

グローバル人材は、重要なテーマになりました。彼らに仕事の世界基準を学ぶ本は、ちょっとしたブームとなり、すでに類書もたくさん出ています。ただ、中には外資系出身者が書いているというだけで、内容が薄い本も少なくありません。「時間を守る」「ホメる」など、「世界標準というより常識では？」ということを列挙した本も増えています。

さらに、鼻につくのが「外資系エリートビジネスパーソンが、ガラパゴス化した日本のビジネスパーソンに物申す」といった類の、上から目線の本です。自慢話のオンパレードに、読む気をそがれます。

本書は、これらと一線を画します。まず、スタンスが違います。1人の日本人が「日本人と日本企業にグローバル化してもらいたい」という切な願いから、自ら学んだことを共有してくれます。

また、指摘が本質的です。行動原則は「正しいワンマン」「リスクヘッジと決断力」「時間コントロール」「謙虚」「信念」の5つに集約され、それを1つひとつ詳述していくスタイルです。本質的なので、かえって国や業種、職種や立場を問わず、あらゆる状況下で応用しやすくなっています。読めばきっと、今の自分の仕事に生かせると思います。

というわけで、「もっと成長して、エグゼクティブまで上り詰めたい」という方はもちろん、外資系で働きたい方、いずれ世界に羽ばたきたい方など、すべての前向きなビジネスパーソンにお勧めします。「外資系エグゼクティブ」の働き方とありますが、本書の内容は日本企業でも、できる人・上に行く人なら必ず実践している仕事術ばかりです。

日本人も外国人もできる人は間違いなく謙虚… 続きを読む